

平成 26 年 7 月 北秋田市長定例記者会見

平成 26 年 07 月 10 日（木）午前 11 時 00 分
市役所本庁舎 第三会議室

1. 阿仁熊牧場くまくま園リニューアルオープニングイベント及び内覧会の開催について
2. 平成 26 年度きたあきた子ども議会について
3. 北秋田市誕生 10 周年記念式典について
4. 移動行政懇話会の開催について
5. 中高生による交流事業について
6. 現代詩フェスティバル・現代詩作品応募状況について

1. 阿仁熊牧場くまぐま園リニューアルオープニングイベント及び内覧会の開催について

秋田県との協働によって改修工事を進めておりました阿仁熊牧場ヒグマ舎が6月30日を以って完成いたしました。

すでにご案内のとおり、今月19日からの3日間にわたって、リニューアルオープンの竣工式典をはじめとするオープニングイベントが開催されますが、市ではオープンに先駆けまして、7月14日（月曜日）の午前10時から、報道関係者の皆様を対象とした内覧会を開催することといたしました。市民はもちろん、広く県内外に新施設の情報を発信して頂きたいと考えておりますので、ぜひともご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

また、オープニングイベントにつきましては、19日の「くまモン」の登場をはじめ、地元小学生によるヒグマたちへのメッセージ朗読や鷹匠体験、さらには超神ネイガーショー等、盛り沢山な内容となっていることから、期間中は車での来場者による大変な渋滞が予想されております。

熊牧場周辺の駐車スペースは、大変限られておりますことから、一定車両数を超えた場合には、国道105号線から熊牧場方面への車両規制が行われ、大阿仁小学校などの比立内地区の臨時駐車場からシャトルバスが運行されることとなります。

また内陸線では、19日から角館駅発の臨時快速列車「じゅうべえ」が増発されるほか、阿仁マタギ駅から熊牧場間にはシャトルバスの運行を行いますので、できるだけ内陸線を利用してのご来場をお願いしたいと考えております。

いずれにいたしましても、県内外から注目をされる大規模なイベントになるであろうことから、秋田県や警察をはじめ関係機関との連携を密にして、万全の態勢をもってオープニングイベントを成功させたいと考えております。

2. 平成 26 年度きたあきた子ども議会について

8月7日に「平成26年度きたあきた子ども議会」を開催することとなりました。

昨年度は小学生26名が子ども議員として頑張ってくれましたが、今回は市内5中学校から3名ずつの合計15名が子ども議員となり、それぞれ「議長団」「安全で住みよい街グループ」「観光産業グループ」「教育スポーツグループ」「健康福祉グループ」に分かれ、事前研修を踏まえて各グループから質問を受けまして、私をはじめ市当局が答弁を行う形で行われるほか、当日は「子ども議会宣言」の採択も予定されております。

今回で2回目の開催となり、子ども議員も中学生となったことから、より具体的な質問や提案が行われるものと大いに期待をしているところであります。

次世代を担う子どもたちにとりまして、議会の仕組みやあり方、そして政治に対する興味や関心を持ってもらう良い機会になることはもちろんのこと、自分たちの生まれたふるさについて真剣に考えてもらうことで、より一層北秋田市を好きになってもらえるような一日になればと考えております。

3. 北秋田市誕生 10 周年記念式典について

今年は、平成 17 年 3 月 22 日に北秋田市が誕生してから 10 年という節目を迎えることから、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の市の発展を祈念することを目的とした「北秋田市誕生 10 周年記念式典」を挙げるることといたしました。

開催は、平成 26 年 10 月 11 日の土曜日、北秋田市文化会館にて実施することとしており、市内外から約 600 名の出席を予定しているところであります。

現在、交渉や調整の最中であることから、詳細につきましては、改めて発表させていただきますが、これまで北秋田市にご貢献を頂きました方々に対する功労者の表彰や市民待望の北秋田市民歌の初お披露目を行いたいと考えているところであります。

4. 移動行政懇話会について

8月4日の阿仁地区での開催を皮切りに、市内各地区において移動行政懇話会を開催いたします。

市が取り組んでおります様々な事業について、市民の皆様を知って頂くとともに、ご意見やご要望などを率直に意見交換ができる大事な場であると認識しております。

今回は、先般作成いたしました「北秋田市定住促進基本方針」の概要についても説明させて頂く予定ですので、子育て世代の方々にも多数ご参加頂きたいと期待をしているところであります。

ぜひとも、この機会にたくさんの方々に足を運んで頂き、よりよい北秋田市づくりにつながるような懇話会にしてまいりたいと考えております。

5. 中高生による交流事業について

8月3日の日曜日に中央公民館において、「第1回北秋田市高校生料理コンクール」～あの高校生レストランがやってくる！～が開催されます。

これは、昨年続く三重県相可高等学校との交流事業であり、今回は「秋田」「鶏」をテーマとした料理部門と「木イチゴ」をテーマにしたスイーツ部門でのコンクールを行う予定となっております。

昨年は、この交流事業をきっかけに「比内地鶏とししとうのプレミアムカレー」が商品化されるなど、市の名産品開発やそれによる地域活性化につながっており、今回も高校生が生み出す新たなメニューに大いに期待しているところであります。

また、コンクール前日の2日には、高校生レストラン生みの親であります相可高校の村林新吾教諭による講演や、昨年もお講演頂きました岸川政之さんによるセミナーも開催されますので、どうぞご期待頂きたいと思っております。

この他、市の子ども交流事業につきましては、東京都国立市とのまと火交流が復活し、今月31日に国立市にて開催されます「国立まと火」には、市内中学生をはじめとする合計33名が訪問することになっております。

このような交流事業を契機に、今後もより多くの方々に北秋田市を知ってもらうような仕掛けを行っていくとともに、様々な形の交流を展開してまいりたいと考えております。

6. 現代詩フェスティバル・現代詩作品応募状況について

4月1日から募集しておりました現代詩作品について、去る6月30日に締め切ったところ、全国から4,600作品の応募がありました。

内訳といたしましては、一般の方が357作品、小学生が2,549作品、そして中高生が1,694作品となっております。また、県内からの応募が全体の約8割の3,771作品であり、県民の関心も高まっているものと感じております。

この場をお借りいたしまして、応募を下さった皆様に感謝を申し上げたいと思います。

現在、一次審査員による審査を行っており、各部門から80作品を上限に作品が選抜され、その後、最終審査を経まして10月26日の文芸祭現代詩大会で発表、表彰となります。

10月の本番までにさらに機運を高め、多くの方々に参加頂けるように、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

なお、内陸線アートの募集は9月1日までとなっておりますので、改めてたくさんのお応募をよろしくお願いいたします。